

別離の歌

(昭和六年閉寮記念寮歌)

大槻均君 作歌

中村小弥太君 作曲

草木すら時に悲歌を嘆ず、永劫の時の流れの尽きざるに、
人の世の凡ての何ぞはかなき。
懐しき友よ、
彼の寮を思ひ浮べて心静かに「別離の歌」を奏でん。

一

高遠を誇る自治寮よ
星永遠に流れては
春秋ここに二十六
逝きて帰らぬ春風を
恨む今宵の若草の上
これ先人が夢の跡かな

二

移ろふ世習泣くは誰そ
原始の森に咲く枝を
手折りて結ぶ友垣が
燃ゆる生命のかがり火に
光る瞳は幸福星か
強く正しく友よ生きなむ

三

明日の宿居は知らねども
吾に友あり、吾強し
降る苦難をとものにせん
誓ふ心の酒杯に
尽きぬ名残の涙する
今宵限りのこの宴かな